

# 処分場を視察された皆さんの 印象・意見について

## アンケート結果

視察後の処分場の印象(複数回答方式)



## 主な御意見

- 今のような生活が続く限り、最終処分場は必要と思われ、何処かには造る必要があると考える。
- 県知事が表明しているとおおり、全国一の安全性を追求しながら、次代を生きる世代に誇れる最先端施設を目指して欲しいと思う。併せて、住民合意への取組みも腐心願いたい。
- 行政は住民に対してすべて情報公開して、開かれた行政執行を願いたい。
- 最終処分場の施設は、思っていたより素晴らしく、安全性に優れていた。

最終処分場の先進地視察の参加者は、随時募集しておりますので、是非一度、ご自分の目で処分場や周辺の状況をお確かめください。  
対象は、那珂川町に在住の町民の皆さん、または、那珂川町に住所を有するグループ、団体です。  
日程は、お申し込みの際調整いたします。  
参加をご希望の方や団体等は、下記に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

## お問い合わせ先

- 栃木県 環境森林部 馬頭処分場整備室 TEL.028-623-3227 FAX.028-623-3182  
e-mail : bato@pref.tochigi.lg.jp  
那珂川分室 TEL.0287-92-1411 FAX.0287-92-1416
- 那珂川町 環境総合推進室 TEL.0287-92-1110

## 発行

- 栃木県 環境森林部 馬頭処分場整備室 〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20 TEL.028-623-3227  
【栃木県ホームページ】 <http://www.pref.tochigi.lg.jp/> 【 ⇒ 暮らし・環境 ⇒ 県営処分場 】

(平成23年12月発行)



第25号

# Green Life なかがわ

グリーン・ライフ  
～快適で安全な暮らしのために～

## 最終処分場を視察して

今号では、平成23年11月に実施しました最終処分場の視察の様子をご紹介します。

町民の皆様にご理解を深めていただくため、県と町では、最終処分場の先進地視察を実施しております。視察先は、茨城県笠間市の「エコフロンティアかさま」と埼玉県寄居町の「埼玉県環境整備センター」の2箇所の最終処分場です。平成23年11月にそれぞれの施設を視察してきましたので、その結果をレポートいたします。

## エコフロンティアかさま (茨城県笠間市)



「エコフロンティアかさま」は、財団法人茨城県環境保全事業団が公共関与による廃棄物処理施設として設置運営しているものです。場内には、埋立容量約240万㎡の管理型最終処分場と溶融処理施設が併設されています。



処分場全景

処分場のえん堤や遮水シートなどの施設には、3月の地震の影響による崩壊や損傷などはなく、最終処分場内では廃棄物の埋立作業が整然と行われていました。

場内はよく整備されており、イメージしていた以上にきれいな施設であったという印象を持たれた参加者が多かったようです。



管理棟及び計量施設

管理棟の2階にあります環境学習施設も見学しました。

ごみと生活環境、地球環境の関係がわかりやすく紹介されていて、ごみをとおして広く環境全般について学べる施設となっていました。



環境学習施設

## 埼玉県環境整備センター (埼玉県寄居町)



「埼玉県環境整備センター」は、埋立容量約290万㎡の埼玉県直営による管理型最終処分場です。また、敷地内には、循環型社会の構築を目指した民間リサイクル施設「彩の国資源循環工場」が立地しており、現在8企業が操業しています。



3号埋立地(埋立中)

現在埋立中の埋立地は、3号埋立地です。埋立にあたっては、週1回、地元の方々が監視員として活動しているそうです。

また、既に埋立が終わった埋立地は、公園として陸上競技用トラックや多目的広場などが整備されており、一般の方がランニングをしていました。



陸上競技用トラック(跡地整備)



肥料製造工場

今回は、民間リサイクル施設のうち、し尿汚泥などの有機性廃棄物から肥料を製造している工場を視察しました。

肥料製造といっても、建屋外ではほとんど悪臭はなく、1日60トンの肥料を製造しているとのことでした。